

# 北海道士幌町における基本計画の概要

## 計画のポイント

士幌町は第1次産業の農業が基幹産業であり、令和3年の農業産出額（推計）は283.5億（北海道内第6位）となっている。耕地面積15,900ha（北海道内第11位）を有し、約350戸の農家が大型農業機械による大規模土地利用型農業を展開している。畑作では、馬鈴薯などが作付面積、収穫量において、畜産では、乳用牛、肉用牛ともに飼育頭数、産出額において、北海道内でトップクラスに位置している。特に肉用牛の飼育頭数48,543頭は全国1位（農林業センサス2020）を誇り、「しほろ牛」は、ブランド牛肉として人気を集め、品質の良さと生産地の安全性にも高い評価を集めている。これらの農畜産物を原料とする食料品製造業は、町全体の製造品出荷額等の85.8%、事業所数の50%、従業員数の88.4%を占めており、付加価値の高い製品を製造している。

このほか、観光分野においては、道の駅ピア21しほろなどの観光拠点を中心に、交流人口の拡大や、農畜産物加工品の販売を促進しており、これらの地域特性を生かし、域内経済の好循環・活性化を目指していく。

## 促進区域

北海道士幌町

## 経済的効果の目標

- ・1件あたり平均47百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を4件創出。
- ・これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.4倍の波及効果を与え、促進区域で**263百万円の付加価値額を創出**することを目指す。

## 地域経済牽引事業の承認要件

### 【要件1：地域の特性を活用すること（①～③のいずれか）】

- ①士幌町の馬鈴薯や乳用牛・肉用牛等の農畜産物を活用した**農林水産関連分野**
- ②士幌町の馬鈴薯や乳用牛・肉用牛等の農畜産物を活用した**食料品製造分野**
- ③士幌町の「道の駅ピア21しほろ」等の観光資源を活用した**観光関連分野**

### 【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：4,611万円超

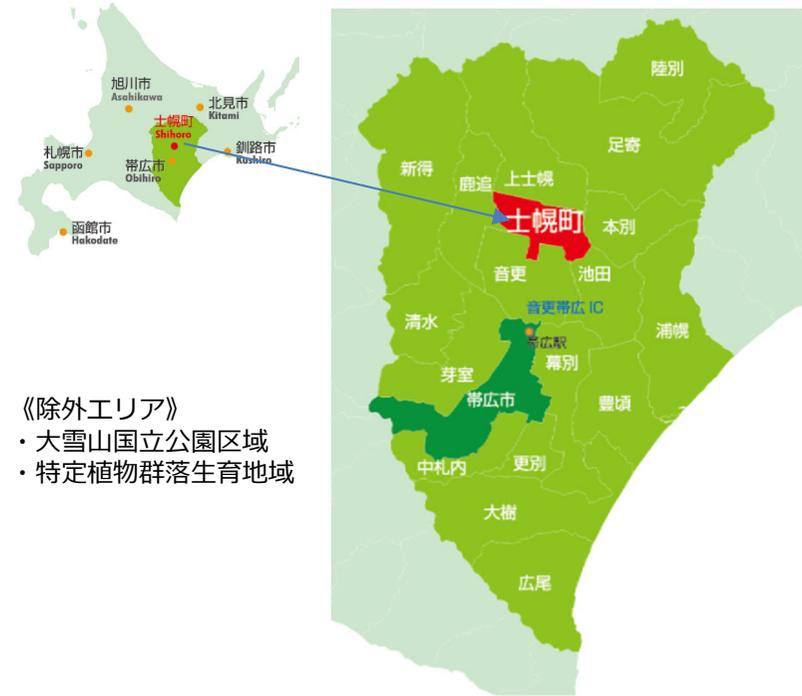
### 【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- ①売上：9%以上増加
- ②雇用：1人以上増加

## 制度・事業環境の整備

- ・士幌町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例による固定資産税の減免措置
- ・特定地域等における道税の課税の特例に関する条例
- ・士幌町企業立地促進条例による立地奨励金や雇用奨励金などによる支援体制の構築
- ・北海道産業振興条例に基づく助成措置
- ・町や支援機関が保有する情報の公開
- ・事業者からの事業環境整備の提案への対応
- ・賃上げ促進支援

## 《促進区域図》



## 地域経済牽引支援機関

公益財団法人とかち財団  
国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学

## 計画期間

本計画の計画期間は、計画同意の日から令和11年度末日までとする。